

栃木放送平成 25 年度第 8 回 12 月期定例番組審議会議事録

1.開催の日時 平成 25 年 12 月 19 日(木)午前 11 時

2.開催の場所 栃木放送本社会議室

3.委員の出席 委員総数 9 名

出席委員 6 名

欠席委員 3 名

出席委員名	委員 長	増 田 仲 夫
	委 員	鈴 木 正 好
	委 員	竹 内 明 子
	委 員	小 島 俊 一
	委 員	太 田 照 男
	委 員	石 崎 均
局側出席者氏名	代表取締役社長	吉 澤 文 夫
	常務取締役	竹 澤 一 夫
	報道制作局長	高 瀬 一 也

4.議 題

(1) 「大塚徹の明快人間学」について

(2) その他

5 議事内容

(1) 「大塚徹の明快人間学」について

試聴番組：平成 25 年 9 月 1 日(日)放送

大塚徹の明快人間学を試聴。

議題説明：報道制作局長 高瀬一也が番組概要について説明。

次に審議に入る。

各委員からは、

24 年続いている番組だが、いい面と悪い面があるように思う。
話術が巧みで引き寄せられる。難しいことをわかりやすく説明
しているので、参考になる。テーマもタイムリーで、いい番組

だと思う。再放送の午前7時15分は少し早いと思う。
速からず遅からずの話し方で好感が持てる。しわがれた声だが、
受け入れやすい。内容もよくわかる。
押しつけでない話なのがいい。
話している対象がわからない所もある。
次回のテーマを予告するといい。
24年も続いたというのはそれなりのニーズがあるのだと思う。
ああそうかと感心する所もあるが、軽い感じがする。
「～すべき」のように押し付けないほうがいい。日常生活の中
から提案するような話し方がいいと思う。
スポンサーが付いていないのがもったいない。
話にもっと深みがあるともっといい。
大塚氏の後継者を育てるのも大切。局側も後継者を探す努力が
必要だと思う。
などの意見が出された。
当社としては今後の番組作りに取り組んでいきたい旨を説明した。

(2) その他

平成25年度第9回2月期の審議会を平成26年2月27日(木)に
開催することを決めて閉会した。

以上